

# 「ジェネリック医薬品」ってなに？

～ 最近よく聞きますが ～

## ジェネリック医薬品とは

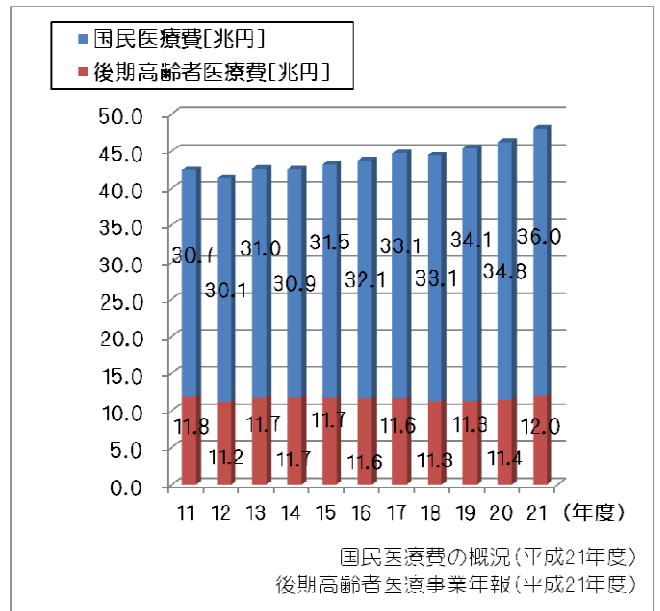
新薬の特許期間（20～25年）が切れた後に製造・販売される**新薬と同じ成分・作用**を持つ医薬品のことです。

## 名前の由来

英語で「一般的な・普及した」という意味の“Generic”が名前の由来で、「後発医薬品」とも呼ばれます。

## なぜジェネリック？

平成21年度の国民医療費は、36兆67億円で、毎年伸びる傾向にあります。**高騰する医療費を可能な限り抑え、私たちの保険制度を維持する**ための一つの施策として、安い薬（ジェネリック医薬品）を使うことを国が推進しています。



## 安い理由

新薬の開発には、10～15年・150～200億円かかると言われています。ジェネリック医薬品は新薬の情報を生かして開発されるので、時間や費用が少なくてすみます。

## 海外の使用状況

日本は17%の使用率ですが、欧米では約6割を占めています。（2009年）

## ジェネリック医薬品の選択

当センターでは、①患者さんが使用しやすい、②品質上問題のない、③安全かつ有効である、④品切れの心配がない、などの条件を満たすジェネリック医薬品の採用に努めています。